

常磐毎日

発行所 75 社
平 市 出 町 新 1,210
常 盤 郵 局 用 部 1,269
電話 210
郵便 1,269

産科
婦人科
齋藤医院
入室料
平日午後5時～

総額二千万圓の飾付け

一等は鈴藤(形)常交(飾)

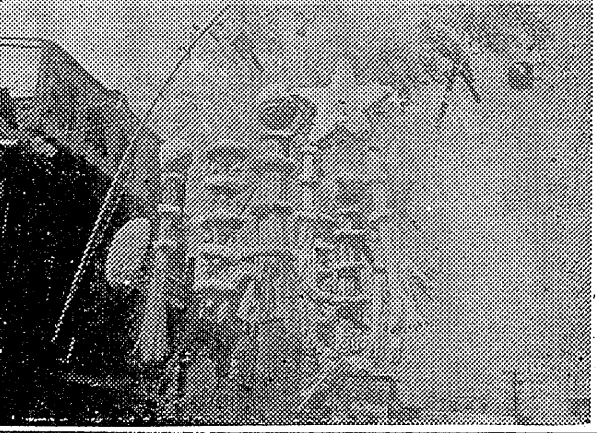
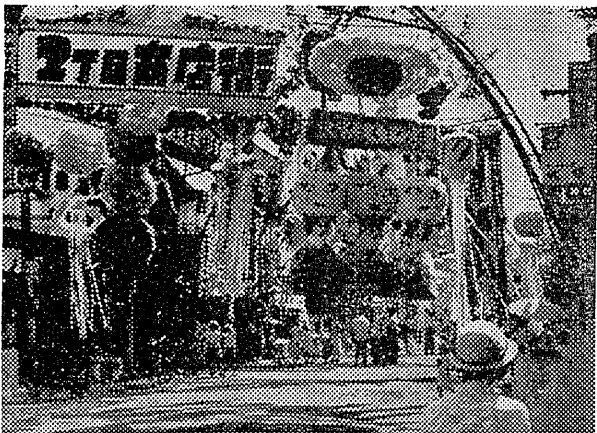
平市 五万の人波でゴツタ返す

夏まつりのトツンを飾る平名物「七夕まつり」はきのこ日か多量市街に繰り広げられた本通百貨通りをはじめ、横町まで電氣仕掛の飾りつけや、吹流しのトンネル、クヌ玉の花道で埋め、豪華な装束を身にまとい、一日の七夕飾り大会は午後二時と午後七時の二回にわたって行われたが、形は鈴藤の「ラドン」飾りには常盤交通、団体は二丁目商店街がそれぞれ一等に入賞したほか次の通り決定、きよら二丁目十時から市公会堂日本間で表形式を行った。(写真上は二丁目、鈴藤、常交)

団体は二丁目

○街中は紙吹雪と人の波で埋まり、この七夕飾りの費用は二千万円は下らないといわれている。一方平名物の調へによると二日目のきよらは正午現在約五万人の出入で賑わっている。

○七夕一色で飾りつけた街中は例年通り五色のテープ、七色のくす玉の紙吹雪で埋めつくされ、市内の商店街では飾り付けに数万円をかけたところも少なくあり、ラドン、南極探検、



貝のみそ汁で中毒

勿来市で九名が重軽症

海産でキャンプを行った工員が嘔吐と下痢を訴え、九名が食中毒を起し、二名が重症になるという食中毒事件が勿来市で発生した。

一日午前八時ごろ勿来市師範下真羽化成寮上場から勿来市小宅さんと同工場勤務秋元和子さん(八)の二名は最もひどく三十九度の熱を出し入院他の七名は一日朝ごろから急に嘔吐を起し、

古河炭礦で落盤

生理め一步前助る

一日午後五時三十分ごろ古河好間炭坑で約三百六十メートル、約四百四十メートルのヤミ米取締を行い、約四百六十四個八十三個を押し出し、

ラジ月賦
三幸電気部
電話506

押収

平鉄道公安室

ヤミ米83俵

落盤でケガ

去る三十日午前四時ごろ勿来市勿来大日本炭坑四区左九片で作業中の採炭夫佐藤忠一さん(八)は落盤のため各大腿部に二週間の負傷を起した。

メロンを食べて
美人になろう
メロンは最盛期で大腸癌、スイカよりも安く、ぶどう、梨、りんごはまだハシリなので一歩高いですが初めの味はまた格別です
○メロン 百個 六〇〇円
○ぶどう 五〇〇円
○梨 一ヶ 二〇〇円
○土蘭特産 羊羹四〇〇円
小名原 藤越 平市

母店の晴雨兼用
大黒屋の物
お買物ニュース
一、一〇〇円
九五〇円
八〇〇円
七〇〇円
六〇〇円
五〇〇円
四〇〇円
三〇〇円
二〇〇円

8月31日迄続行 全連鎖店
大黒屋のジーケーワイシャツ又はジーケー開襟シャツを買上毎に新発売替カラー又はカラーのり贈呈中
(新発売替カラーは80円発売中)

1957年 七夕まつり 見舞見中 盛

石城地方縣出先
機関協議会
松村齒科医院
福島県クリーニ
ンク協同組合
平支部
会 員 一 同
附 属 新 田 目 病 院
院長 新田 五郎
副院長 鈴木 将夫
分科長 角田 達也
本院 平市才畑小路 電話一五・三三
分院 平市上荒川 電話二二・五六
土木建築設計
エタカ工業株式会社
平出張所 佐藤 房次
平市才畑小路 電話二二・二七四
明雲堂眼科医院
新 平市田町 電話六六九
平地区米穀卸売組合
理事長 片寄 保
平市大町 電話八〇三

